

平成28年度第1回水戸市青少年問題協議会

日時：平成29年2月15日（水）9：30～
会場：水戸市役所南側臨時庁舎
2階 農業委員会室

一 次 第 一

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 題

- (1) 水戸市青少年・若者育成基本計画（第2次）に基づく、水戸市の取組について
- (2) 関係機関、団体等の取組について

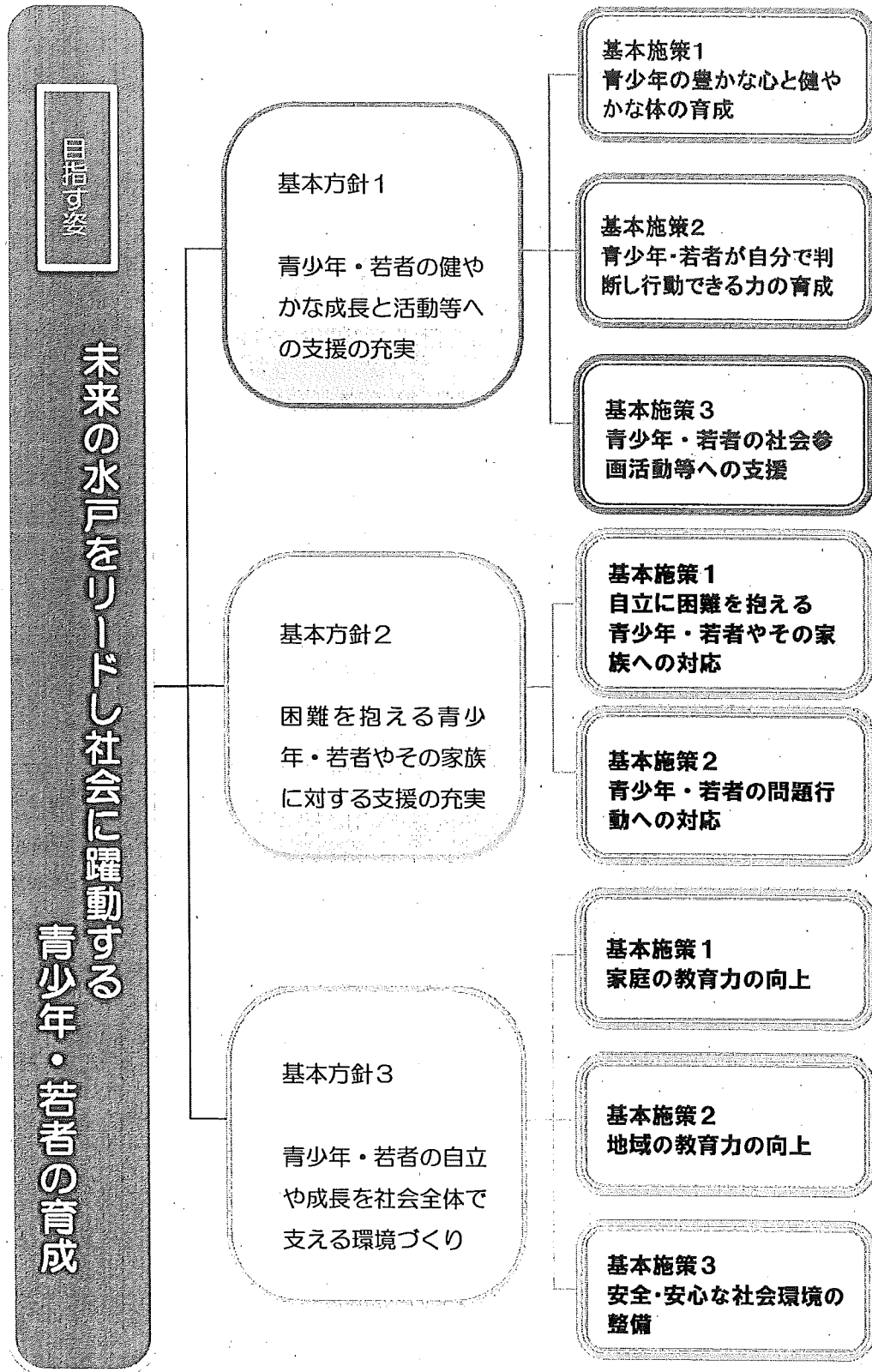
4 閉 会

水戸市青少年問題協議会委員名簿

(敬称略：平成28年6月28日現在)

| 番号 | 氏名 | 選出区分 | 所属及び役職 |
|----|-------|-----------|--------------------------|
| 1 | 田山 喜子 | 学 識 経 験 者 | 茨城県青少年育成アドバイザーの会会長 |
| 2 | 大関 茂 | 学 識 経 験 者 | 市住みよいまちづくり推進協議会会長 |
| 3 | 佐藤平八郎 | 学 識 経 験 者 | (公社)水戸青年会議所理事長 |
| 4 | 菊池 徹 | 学 識 経 験 者 | 水戸地区保護司会学校連携担当保護司 |
| 5 | 岡田 澄子 | 学 識 経 験 者 | 水戸更生保護女性会副会長 |
| 6 | 成願 強 | 学 識 経 験 者 | 市ボーイスカウト・ガールスカウト連絡協議会副会長 |
| 7 | 岩下 智子 | 学 識 経 験 者 | 市子ども会育成連合会副会長 |
| 8 | 太田 元子 | 学 識 経 験 者 | 水戸女性会議副会長 |
| 9 | 立川 力 | 学 識 経 験 者 | 市青少年相談員連絡協議会会長 |
| 10 | 堀田 望 | 学 識 経 験 者 | 市青少年育成推進会議地域・環境部会部長 |
| 11 | 山本 修司 | 学 識 経 験 者 | 市PTA連絡協議会会長 |
| 12 | 生越 達 | 学 識 経 験 者 | 茨城大学教育学部教授(教育学部長) |
| 13 | 水嶋 陽子 | 学 識 経 験 者 | 常磐大学人間科学部准教授 |
| 14 | 中田 潔 | 関 係 機 関 | 水戸家庭裁判所主任家庭裁判所調査官 |
| 15 | 隈元 崇広 | 関 係 機 関 | 水戸警察署生活安全課長 |
| 16 | 中林 貴紀 | 関 係 機 関 | 茨城県福祉相談センター相談援助課長 |
| 17 | 永田 博 | 関 係 機 関 | 市学校長会代表(第二中学校長) |
| 18 | 伊藤 剛 | 関 係 機 関 | 市学校・警察連絡協議会代表 |
| 19 | 木本信太郎 | 市 議 会 議 員 | 市議会代表 |
| 20 | 高倉富士男 | 市 議 会 議 員 | 市議会代表 |
| 会長 | 高橋 靖 | 地方公共団体の長 | 水戸市長 |

体系図：青少年・若者育成基本計画（第2次）



(1) 水戸市青少年・若者育成基本計画（第2次）に基づく、水戸市の取組について

1 「少年の主張大会」の開催

計画の位置づけ：

基本方針1 青少年・若者の健やかな成長と活動等への支援の充実

基本施策2 青少年・若者が自分で判断し行動できる力の育成

具体的施策（1）学びの基礎や確かな学力の定着・向上

期日：平成28年7月16日（土）

会場：県民文化センター大ホール

内容： 学校、家庭、地域社会の中で体験したことや日ごろ考えていること、自分たちが暮らしている「水戸」について考えていること等についての作文を募集し、優秀作について、青少年育成者や同年代の中学生の前で発表する。

また、発表された主張について、参加した中学生が意見を述べる。

応募点数：4,012点

当日参加者：925人（主張発表：21人，意見発表21人）

2 市民センター等で行われる青少年教育関係の一般教養講座（小中学生対象）

計画の位置づけ：

基本方針1 青少年・若者の健やかな成長と活動等への支援の充実

基本施策3 青少年・若者の社会参画活動等への支援

| | 平成26年度 | 平成27年度 |
|----------------------------|--------|--------|
| 市民センター等で行われる青少年教育関係の一般教養講座 | 251回 | 244回 |

【平成27年度実績】

実施市民センター数：31

講座数：72講座

わくわくミステリー（三の丸）、エコクラブ（新荘）等

実施回数：244回

参加者数：7,007人

3 ボランティア・NPO活動の支援

計画の位置づけ：

基本方針1 青少年・若者の健やかな成長と活動等への支援の充実

基本施策3 青少年・若者の社会参画活動等への支援

具体的施策（1）ボランティア・NPO活動の支援

支援対象：NPO「PlayPark310」

活動内容：市民協働事業「外遊び」の力を次世代へ ～子どもの力を地域の力に～
プレイパーク（冒険遊び場）の開催（7月30日、11月27日開催）
・ハンモック体験、マシュマロ、焼き芋、森の工作、パチンコでどんぐり
飛ばし、チャンバラごっこ等

支援内容：幼稚園、小中学校、関係団体へのチラシ配布

4 青少年相談員による街頭補導

計画の位置づけ：

基本方針2 困難を抱える青少年・若者やその家族に対する支援の充実

基本施策2 青少年・若者の問題行動への対応

具体的施策（1）非行・犯罪対策の推進

活動内容：グループで、駅、デパート、公園等を巡回し、問題行動を起こす恐れのある
青少年を発見し、適切な指導・助言を与える。また、街を徘徊する青少年の
悩み相談なども行う。

【平成27年度実績】

中央補導：水戸駅周辺の巡回 134回実施

地区補導：市内各地区の巡回 80回実施

特別補導：黄門まつり、卒業式にあわせ実施 11回実施

【青少年相談員の取組】

①新任研修会の開催

期日：平成28年6月3日

会場：総合教育研究所

内容：制度の概要説明

講演 少年サポートセンター水戸 木下知巳氏

「水戸市における街頭補導状況について」

②全体研修会の開催

期日：平成28年12月1日

会場：総合教育研究所

内容：講演 少年サポートセンター水戸 佐々木美香氏

「青少年のインターネット安全安心利用に関する出前講座」

特別相談員との意見交換会

③「青少年の健全育成に協力する店」登録活動

実施時期：10月～11月

内容：より良い社会環境づくりのため、青少年への注意喚起、情報交換に協力

5 市民センター等で行われる家庭教育関係の一般教養講座の実施

計画の位置づけ：

基本方針3 青少年・若者の自立や成長を社会全体で支える環境づくり

基本施策1 家庭の教育力の向上

| | 平成26年度 | 平成27年度 |
|---------------------------|--------|--------|
| 市民センター等で行われる家庭教育関係の一般教養講座 | 140回 | 133回 |

【平成27年度実績】

実施市民センター数：28

講座数：53講座 ふれあい学級（食育，料理教室，親子体操）等

実施回数：133回

参加者数：8,554人

6 家庭教育に関する意識の啓発

計画の位置づけ：

基本方針3 青少年・若者の自立や成長を社会全体で支える環境づくり

基本施策1 家庭の教育力の向上

具体的施策（1）家庭教育に関する意識の啓発

●「家庭の日」啓発

青少年育成推進会議と啓発事業を実施し，作文やポスターの募集，掲示をとおした普及啓発を行った。

絵画ポスターの部：応募点数 347点

作文の部：応募点数 539点

※イオンモール水戸内原で，優秀作品 106点を平成28年11月11日～17日に掲示

●「親が変われば子どもも変わる運動」への取組

青少年育成推進会議と「親が変われば子どもも変わる運動」への取組を議題とした指導者研修会を実施し，青少年指導者への啓発を行った。

期日：平成28年8月28日

会場：報佛寺，桜川市民センター

参加者：40人

7 各青少年育成団体への支援

計画の位置づけ：

基本方針3 青少年・若者の自立や成長を社会全体で支える環境づくり

基本施策2 地域の教育力の向上

具体的施策(1) 青少年・若者育成団体等との協働

具体的施策(2) 地域リーダーの育成

●子ども会活動への支援

| | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 |
|------------------|--------|--------|--------|
| 子ども会への 小学生加入率 | 41.6% | 38.1% | 37.8% |

(1) 子ども会についての実態調査(平成27年度)

市立全小学校の児童とその保護者に対し、子ども会についての実態調査を実施。

- a 調査結果から見える課題
- ・役員をやることへの親の負担感が強い
 - ・単位子ども会が町内にないために入会できない
 - ・スポーツ少年団等と活動日が重複してしまう

(2) 地域との連携

- a 平成26年度から、堀原学区をモデル地区として、小学校、学区子ども会育成会、PTAと子ども会活動の活性化をテーマに検討会を開催。

堀原小学校では、校内に従来の単位子ども会の区割りを参考にした「なかよし会」を設置し、子どもたちが主体的に活動中。

また、平成28年度から、全児童が加入し、地域の育成者が学校とともに活動する「堀原学区子ども会育成会」が発足。

- b 平成28年度から、地域のコーディネーターとしての役割を持つ市民センター所長を、市長部局と教育委員会からの併任発令とし、地域コミュニティ活動と地域教育力の向上の双方の観点から、市民協働部と連携し、子ども会活動の活性化に努めている。
- c 平成28年度は、寿市民センター、寿地区自治連合団体との協働事業として5回シリーズの学習プログラムを実施し、その一環として「地域における青少年・若者の育て方」をテーマに講義を行った。

(3) 水戸市子ども会育成連合会(市子連)との連携

- a 平成25年度から、就学前の幼児とその保護者を対象として、子ども会の楽しさを知ってもらうことを目的としたPR事業「子どもフェスタ in 水戸」を開催。
- b 平成27年度から、有志の登録ボランティアによる「サポート隊」を発足させ

るとともに、経験豊かな人材の確保に努め、学区子ども会への支援体制を強化。
 (平成 28 年度現在：13 名)

- c 子ども会についての実態調査の結果を踏まえ、市子連の育成指導部会で、全学区の育成者を対象とした指導者研修会を実施。

期日：平成 28 年 11 月 19 日

会場：桜川市民センター

参加者：56 人

●指導者研修会の開催

| 名称 | 期日, 会場 | 内容, 参加者 |
|---------------------------|-----------------------------------|------------------------------|
| 青少年指導者研修会 (市青少年育成推進会議) | 平成 28 年 8 月 28 日 報佛寺, 桜川市民センター | 青少年を取り巻く課題への対応について (参加 40 人) |
| 指導者育成研修会 (市子ども会育成連合会) | 平成 28 年 11 月 19 日 桜川市民センター | 子ども会・育成会の現状と課題 (参加 56 人) |

8 安全・安心な社会環境の整備

計画の位置づけ：

基本方針 3 青少年・若者の自立や成長を社会全体で支える環境づくり

基本施策 3 安全・安心な社会環境の整備

具体的施策 (2) 地域安全活動の推進

●「こどもの安全守る家」の登録推進

| | 平成 26 年度 | 平成 27 年度 |
|--------------|----------|----------|
| こどもの安全守る家登録数 | 2,347 か所 | 2,304 か所 |

※平成 28 年度, マニュアルの再検討を実施

9 社会環境の健全化

計画の位置づけ：

基本方針 3 青少年・若者の自立や成長を社会全体で支える環境づくり

基本施策 3 安全・安心な社会環境の整備

具体的施策 (3) 社会環境の健全化

●社会環境向上研修会の実施

期日：平成 29 年 2 月 4 日

会場：総合教育研究所

講師：元長野県警察刑事 宮澤直美氏

「薬物乱用の実態と恐怖」

参加者：86 人